

登録コード	L1920100	開講年度	2026				
担当教員	佐藤 真紀		副担当				
授業科目	西洋史概論						
英文授業名	European and American history introduction						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	水曜・3 時限
講義室	共通教育 1 3 講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力				学問的な思考力を身につける		
	【2022年度以前加付対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力				学問的な思考力を身につける		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】				学問的な思考力を身につける		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	西洋史研究者である遅塚忠躬が著した『史学概論』をみながら、今日の西洋史を考える。						
授業計画	第1週 オリエンテーション 第2週 レポートの書き方についての指導 第3週 ミューズのなかの一人 第4週 乙女の追跡 第5週 カトリーヌとジャック 第6週 ガラパゴス諸島から 第7週 古文書のにおい 第8週 地獄の裁判官と詩人 第9週 歴史学の対象 第10週 食糧暴動、ドリヴィエの存在 第11週 構造史・事件史・文化史 第12週 物価変動、飢饉 第13週 ルアン大司教領、エタンブ事件、ルカルパンティエ 第14週 フェーブルの闘い 第15週 ゆがんだガラス						
成績評価の方法	レポート8割、授業態度2割で評価する。						
成績評価の基準	出席をしていることが前提となる。 期末レポートが、テーマの問いに答える内容で、かつ、指定された様式（文章にすること、註をつけること等）に従って書かれたものであれば、『かなり上にある』と評価される。テーマの問いに答えようとしている努力がみられ、様式に従っているものは、『やや上にある』と評価される。テーマの問いに答える努力がみられるが、様式に一部不備（ただし註のないものは不可）があるものは『その水準にある』と評価される。『かなり上にある』の条件を満たし、さらに、テーマや註に関する条件を満たしたうえで、外国語文献まで含めた広い情報源から、深い考察を行ったものは、『卓越している』とみなされる。						
事前事後学習の内容	事前に、西洋史の概説書を読み進めておくこと。 事後に、授業ごとに指示した参考文献を調べて、読むことが望ましい。						
履修上の注意	なし。						
質問、相談への対応	maquis@shinshu-u.ac.jpに連絡してください。						
教科書	授業時に適宜指示する。						
参考書	遅塚忠躬『史学会論』東京大学出版会、2010年。						